

未来づくり懇談会（第一農場）会議録

日 時：平成28年10月4日（火）

19:00～20:23

場 所：第一農場自治公民館

出席者：市長、総合政策課長、

商工林業観光課長、総合政策課長補佐

1 開 会 19:00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

持続可能な泉地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口推計、小さな拠点構想等について説明。

地籍調査の早期実施について

Q1 現況と台帳が合っておらず、住宅建築、相続、農地売買、農地の委託耕作がスムーズにいかない。高原地区総合整備事業のなかの用水掘整備事業についても、公図混乱地域のため滞っている。いつできるか見通しも立っていない状況。

A1 現在矢板市内では、H22～31年までの6次計画の中で9地区の地籍調査を行っている。次のH32～41年までの7次計画の調査エリアを選定する31年までに、より効果の期待できるエリアを選定し調査手法などを総合的に勘案して進めたいと思う。

中山間地域整備事業は第一農場だけでなく、上伊佐野、平野等の事業と組み合わせで行っているが、地籍調査を入れると言っても非常に広い面積で1年2年では仕上がらないとの回答を県農村振興課から得ている。事業を推進して欲しいというご意見いただいたが、1年2年では結果が出ないということだけのご理解いただきたい。

地籍調査は公図を基に現地を調査するので、公図が無い地域や現状と公図の状況がかけ離れている地域では、地籍調査を行うことが困難である。

5 意見交換

Q1 イノシシ、シカ等の獣被害がここ数年多くなり、この地区だけでなく他地区でも増えていくことが予想される。市としてどのように獣害対策に取り組んでいくのか伺いたい。また、獣害対策には猟友会の協力が不可欠だが、報奨金が近隣

市町と比べて少ないと聞いている。金額を増やせば獣害対策に対して効果があると思うが、考えを伺いたい。

- A 1 獣害対策は組織的に行うことが効果的とされているので、H29年度から猟友会の皆さんにご協力いただき捕獲実施部隊を組織し動き出せるよう準備を進めている。報奨金については10月1日から1頭につき6,000円。金額については徐々に他市町と足並みがそろうように検討していきたいと考えている。

平成28年10月	捕獲報償制度開始
	捕獲報奨金 1頭につき6,000円
平成29年4月～	捕獲報奨金 1頭につき12,000円
平成29年4月	矢板市鳥獣被害対策実施隊を設置
平成30年4月	矢板市狩猟免許取得補助金
	上限10,000円 1人1回限り
	矢板市猟友会加入補助金
	上限30,000円 初回のみ

- Q 2 電気柵は国からの補助しかないのか？農業共済組合が経費の一部を補助してくれるものがあるが、市単独の補助は行わないのか？

- A 2 今現在市単独の補助制度はない。検討の余地はあると思うので今後検討していければと思う。

平成29年7月	矢板市有害獣侵入防止柵設置事業費補助金交付要綱を整備（市単独事業）上限50,000円
平成30年4月～	有害獣侵入防止柵設置事業費補助金の一部改正 上限100,000円

- O 1 高齢化に伴い、車の運転が出来なくなる人が増えていく。家族がいればよいが、市役所や店が遠く老人世帯ではどうしようもない。買い物や各種手続きを高齢者がどうやっていくのか市としてしっかりと考えて欲しい。

平成29年10月	75歳以上の市営バス無料乗車券交付事業の実証実験
平成30年4月	65歳以上の運転免許証自主返納者の市営バス無料化 65歳以上75歳の誕生日まで
平成30年4月	75歳以上の市営バス無料乗車券交付事業の本格実施
平成30年4月	福祉タクシー券交付事業の見直し 85歳以上 → 80歳以上 ※年齢引き下げ 月2枚（最大24枚） → 年24枚 市外タクシー業者との協定実施